



6月1日ヒメマス釣り解禁：ポロピナイ地区



千歳川



オオハナウドを訪れるウスバシロチョウ

支笏湖ビジターセンター便り



2019年（令和元年）6月号 Vol. 114



湖中にあった流木があらわに

ここ10年間の6月12日の水位（水面標高）のデータを調べてみると、今年が最低の248.01mでした。10年の平均値は248.49m。例年より50cmほど低い数値です。昨冬の少雪で雪解け水が少なかったことと、最近の雨不足が理由と思われます。

水不足は支笏湖の自然にどのような影をもたらしているのでしょうか。観察が必要です。

水が減った

昨冬の雪不足？ 雨不足？



6月12日 国道453号沿いの湖岸

木の花を 6月の花 探してみましょ ツルアジサイ（アジサイ科）



びっくり

「アジサイ」が木を登る??



6月の森をにぎわす花の一つ、「ツルアジサイ」の紹介です。ツルアジサイはその名のとおりに「ツル」で、自身の近くにある樹木を頼り日に向かって伸びていきます。光が差し込まない森の奥では成長できないので道路や歩道沿いでよく見かけます。実は身近な植物です。

木の幹に白いぼんぼん飾りのようなものを見つけたら、それは「ツルアジサイ」ですよ。

ハマエンドウ開花



湖岸でハマエンドウ（マメ科）が開花！

海岸の砂地やれき地の植物として知られるハマエンドウを湖岸で見つけました。支笏湖ではこれまで記録されていません。いつからここに居たのでしょうか。釣り人の荷物などに種が入り込み、それからここに根付いたのでしょうか。足のない植物がどうやって移動するのか。色々な物語が想像され興味深いです。

※「ツルアジサイ」と「イワガラミ」はとても似ていて混同しないよう注意が必要です。ツルアジサイは花周囲の装飾花のガク片の数が3～4枚。イワガラミは1枚です。

支笏湖温泉 の気象

支笏湖畔の気温
・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

日照時間(h)

	平年値	今年
5月上旬	59.8	76.6
中旬	54.1	76.3
下旬	59.9	89.7
6月上旬	49	57

気温(°C)

	平年値	今年
5月上旬	8	10.4
中旬	9.3	11.1
下旬	10.9	15.6
6月上旬	12.2	13.9

降水量(mm)

	平年値	今年
5月上旬	44.9	26.5
中旬	46.6	0
下旬	50.2	27
6月上旬	39.8	24.5

昨年11月からの気温の高い傾向は5月に入っても続き、5月の平均気温12.5度は観測開始以来同月としては最も高くなりました。また、5月27日の日最高気温29.7度、26日の同29.1度は、同月としては第1位と第2位でした。5月の日最高気温の更新は1985年以来です。

日照時間も多く、5月の合計値242.6時間は同月としては観測開始以来最も多くなりました。降水量は少なく5月の降水量合計53.5mmは、同月としては観測開始以来少ない方から第7位でした。

多目的展示室から

展示物の紹介

東千歳中学校 美術展

30日まで



千歳市幌加の東千歳中学校の美術展を開催しています。顧問の竹津先生(道展会員でもある)の指導のもとに活動する生徒さんたちの作品は力強いものばかり。学校のある農村地帯の牛や馬、道内各地の由緒ある建物などを題材している作品は多くの全道・全国規模の美術コンクールで入賞するなど優秀な成績を残しています。ぜひご覧ください!(最終日30日は15時までです)

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地
TEL 0123・25・2404
HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで
12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで



鎌で草刈り中!

環境省 支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブレンジャー(自然保護官補佐) 當山 真貴子

アクティブレンジャー日記

気温の高い日が続く、一気に葉っぱが生い茂り、新緑が美しくなっている支笏湖。歩道まで伸びてしまった草を刈る「草刈り・施設整備」を実施しました。パークボランティアさんやロードメンテナンスさん(約20名)で、草刈りや看板・フットライトの拭き清掃にも取り組み、今まで行きづらかった場所が通りやすくなり、看板も綺麗になりました♪是非、皆さんも散策を楽しんで下さいね(^)清掃活動は一人では出来ない作業・・・改めて、ご協力いただいた皆さんに感謝を感じた日となりました。

ピシターに おいでよ



エゾサンショウウオの子ども(幼生) 体長約6cm



エゾアカガエルの子ども(幼生) 体長約3cm

4月下旬から展示していたエゾサンショウウオとエゾアカガエルの卵。

5月に入りふ化したあとはすくすくと育ち、最近になって手足が生えてきました。

両生類であるサンショウウオとカエルは子どものうちはエラ呼吸のため水中で育ちますが、大人になると肺呼吸に変わり陸上で生活するようになります。

ちょうど今が子どもと大人の境目。これからそくそく上陸が始まります。なお、大人になったばかりの小ガエルは飼育が難しいため元いた場所に返すことにしています。

劇的に姿や生態を変える小さな生き物たち。日々成長していくのを眺めるのは楽しいです。

自然 ふれあい行事

7月 6日(土)・21日(日)は
「7月の山線軌道ウォーク」

時間 9:45~13:00
対象定員:10名

参加無料

バス代
270円
必要

かつての王子軽便鉄道軌道をウォーキング。支笏湖地域にも電気を供給している王子製紙第一発電所を目指して歩きます。※徒歩約6km。帰路は路線バスを利用(運賃270円は各自支払)